

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。1・2年生の皆さんもそれぞれ1年間の学びを経て、4月からはまた新たな学年でのスタートとなります。新宮高校での学びを力に、「自律した学習者」となるべく、希望に満ちた新たな春を迎えましょう。



第77回卒業証書授与式 3月3日

3月3日(月)9時より本校体育館にて、第77回卒業証書授与式を挙行了しました。多くの来賓・保護者の皆様をお迎えし、全校生徒が一堂に会して、厳粛な中にも心温まる時間を共にしました。

下村校長は式辞の中で、部活動や日々の挨拶、行事での協調や授業での取組に、人に対する敬意や尊敬の心、目の前のことに真剣に向き合うひたむきさなどを感じ、心が揺さぶられたことを伝えました。そして、上杉鷹山の「なせば成る」を引きながら、何かを成し遂げるためには、まず行動し、諦めずに努力することが重要であると語り、皆さんにはどんな困難も乗り越える力があると励ますとともに、新宮の地や新宮高校で過ごせたことを誇りに豊かな人生を歩んでほしいと結びました。

在校生代表送辞は生徒会長の山口遼太さんが行い、新型コロナウイルスの影響を受ける中、まるで地図なき道を進むかのように、自ら作り上げる力を見せてくれた卒業生に尊敬と感謝の思いを伝え、「希望の天地を開かんとともに」と卒業生の活躍を祈りました。卒業生代表の答辞は大代幸さんが行いました。答辞では、入学当初は新型コロナウイルスの影響で思うような高校生活を送れないのではないかと不安があったが、仲間と出会って打ち解け、多くの経験ができたことなど、たくさんの思い出を語りました。また自身を支えた「努力は必ず報われる」という言葉の「報われる」とは、成功することに限らず、自分の力を最大限尽くすことで「悔いのない人生を歩めること」だと話しました。そして、在校生や教職員、保護者への感謝を伝えつつ、卒業生の仲間に「皆さんと過ごした一瞬一秒が私の一生の宝物です。本当にありがとう。」と伝えました。

卒業生195名の今後のますますの活躍を願っています。



ユネスコ感想文で表彰 3月12日

3月12日(水)、新宮ユネスコ協会の講演についての感想文の優秀作品表彰式が本校応接室で行われ、1年生6名が中谷剛会長より表彰を受けました。中谷会長は、新宮ユネスコ協会の活動を説明し、世界で紛争が絶えない中、ユネスコ憲章にある「心の中に平和のとりでを築く」ことの大切さを思い知らされると話し、各作品の講評を述べられました。受賞者は1年生の久保沙月さん、堺美瑠羽さん、栗林花さん、中村安祐美さん、南穂乃花さん、平見雪月さんです。



磐盾奨学金授与 3月25日

3月25日(火)、旧制新宮中学校同窓会「新中会」による磐盾奨学金の授与式が行われ、選考を経た進学する5名(池畑和さん、吉中裕晟さん、仲柊華さん、山崎音羽さん、上地翔真さん)に奨学金各20万円が授与されました。磐盾奨学金は、長い歴史と伝統があり、一昨年より返済義務のない給付型となっています。



探究成果発表会Ⅱ 3月13日

3月13日（木）5～7限目に体育館で探究成果発表会Ⅱを行いました。2年生の10ユニットから選抜された代表の10グループがステージで発表し、探究の成果発表に加えて、探究活動で苦労したことや改善点なども1・2年生に伝えました。発表後には、質疑応答も行われ、「睡眠の質を上げるために」の発表では、活発なやり取りがなされました。「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の運営指導委員の先生方からご講評もいただき、疑問を問いに成長させるにはどうすればよいかや、探究は情報の紹介ではなく正解の定まらない問いを追究し続けることである等、今後につながるご指摘やご助言、ご指導をいただくことができました。



新高国際交流DAY



プログラムⅠ 3月6日

3月6日（木）16時5分から、第1回新高国際交流DAYのプログラム「アニメ・漫画サミット in 新高」が行われ、1・2年生11名が「きのくに学びの教室」に通う外国人7名の方の前で、好きなアニメや漫画の作品を英語で紹介しました。このプログラムは、より身近な人々との交流を通じ、グローバル化に対応できる力を付けていくことを狙いとしています。最初は緊張していた生徒たちも、やり取りが進む中で交流が深まり、和気あいあいと笑顔で語り合う姿が印象的でした。



プログラムⅡ 3月18日

3月18日（火）に、「第1回新高国際交流DAY」のプログラム2を、「外国人からグローバルスタンダードにふれる」をテーマに開催しました。8名の生徒たちが、近隣でALTを務める方や新宮市観光協会で活動されている方たちと、自己紹介やフリートークを通じて交流を深めました。新たな気づきを多く得る機会となりました。



進路LHR 2月19日



3月18日（木）5限には2年生を対象に、6限には1年生を対象に進路LHRを実施しました。進路希望別に「就職・公務員」「専門学校」「医療系」「私大文系（推薦入試）」「私大文系（一般入試）」「国公立大文系」「国公立大理系・私大理系」の7つの分科会にわかれ、それぞれの進路に関する説明を受けるとともに、この春の卒業生から進路実現に向けての体験談を聞きました。身近な先輩のリアルな体験談と思いのこもったメッセージは、1・2年生にとって大いに参考になったことと思います。



クラスマッチ 3月19日



3月19日(水)に、1・2年生でクラスマッチを行いました。晴天でしたが強風のため、途中からは全て体育館に場所を移して、ドッジボールとバレーボールの熱戦が繰り広げられました。応援にも力が入り、体育館は大変な熱気に包まれました。男子ドッジボールは1年1組、女子ドッジボールは2年2組、男子バレーボールは2年2組、女子バレーボールは2年5組がそれぞれ優勝し、2年2組が総合優勝となりました。クラスの絆がさらに深まった1日となりました。



吹奏楽部定期演奏会 3月23日



3月23日(日)13時30分より、丹鶴ホールにて本校吹奏楽部の第44回定期演奏会を開催しました。地域・保護者の皆さまをはじめ、大勢の方々に来場いただき、思いの詰まった音色を届けることができました。



終業式・離任式 3月24日

3月24日(月)に、令和6年度3学期終業式を行いました。

下村校長は式辞の中で、一年間を振り返り、「成長できた」と言えることはあるかを問いかけました。そして「自律」について考えたいとして、考査前日課についての生徒会の取組を例に挙げながら、「自身の立てた規範に従って行動する」には、「考えて」「受け身ではなく能動的に行動する」ことが大切であり、今回の取組はこの「自律」の力を付けることに大いに関わるものであったことを話しました。これからの時代は、言われたことをそのままやっただけでは立ちゆかず、考えて人間にしかできないことをやっっていく必要があること、それには「自律」の力が要り、それは探究学習でも培われるものであることを語り、「自律」した学習者として春休みを有意義に過ごしてほしいと結びました。

また終業式に先立って、3学期に活躍した生徒の表彰式を行い、終業式の後は、令和6年度末の人事により異動となった先生方の離任式を実施しました。異動される先生は次の方々です。

有本理香先生(芸術科美術)【ご退職】・佐竹宏洋先生(地歴公民科)【海南高校美里分校へ】・脇田一徳先生(情報科)【伊都中央高校通信制へ】・山本妙先生(英語科)【神島高校へ】・前野孝光先生(国語科)【田辺高校へ】・田間稜人先生(数学科)【新翔高校へ】

先生方の今後のご健勝とご活躍を祈っています。

